

令和6年度 協働のまちづくり チャレンジ事業 成果発表会 (資料)



<団体連合チーム>

材木町会連合会
馬場町会連合会
WLB北陸

2025
03.01
(sat)

金沢歌劇座

材木地区
町会連合会

49町会 3,000世帯

馬場地区
町会連合会

29町会 1,100世帯

NPO法人
ワークライフ
バランス北陸
会員30名

連携

- ①まずは町会に声掛けをして現状を共有。
- ②参加を促し興味を持つもらう！
- ③町会メンバーの平均年齢を下げる！
- ④コミュニティの修復・再生を考える機会提供。



＜概要＞

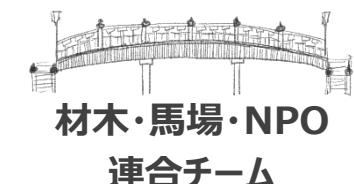
- 2回のセミナー、七つ橋わたりで、ボランティアを募ります。（対象：30代後半～40代）
- 現在の町会、町連の役員が交代しても、この課題は残っていくようにする。
- SDGsの目標11番「住み続けられるまちづくりを」に近づけるように努力します。

＜背景と狙い＞

- 薄れゆく町会や町のコミュニティ。あいさつが5年前と比べ、少なくなりました。
- 数年にわたるコロナによって、古き良き町のコミュニティは、ズタズタに壊され、分断してしまいました。
- また、高齢化の影響は、町会の役員にも出ていて、60～70代が中心です。
- 町会や町連でやる行事・祭事を準備、運営しているのは、大半が高齢者です。
- 町会には、歴史伝統・風習行事・祭り・言い伝えなど、残すべきコンテンツがあります。
- コミュニケーションがとれず、そのことで「防犯防災・各種集金・町会の委員決め」などで弊害あり。



町のコミュニティの修復と、若返りが必要。



事業名) 住み続けられるまちのためのミーティング「SDGsとまちづくり」

参加者数) 15名 材木公民館

良かった点) カードゲームは白熱していた。ゲーム後の振り返りトークで活発な意見交換ができた。

課題・反省点) 多くの町民に出席して欲しい。チラシ配布だけじゃない別の手段を考案する必要がある。

市との協働について) 中田さん・小幡さんのアドバイス

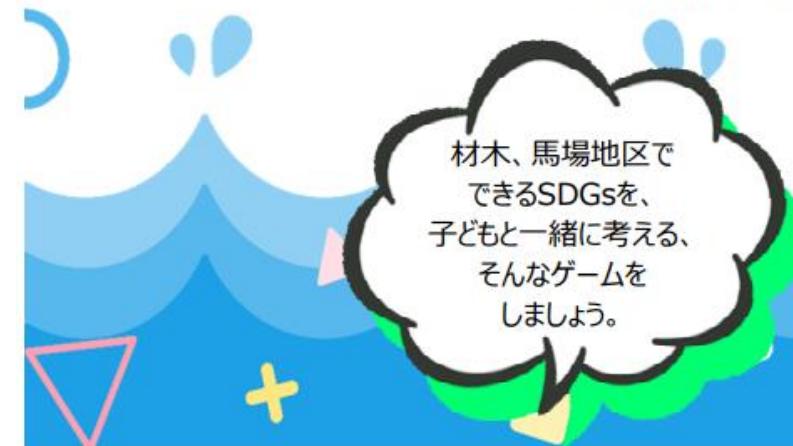


夏休みの宿題は
SDGsでバッチリ！

話し、せんけ！ SDGsのゲームを使って、 マチができること、できないこと。+

～「住み続けられるまち」のための住民同志のコミュニケーション～

7月21日（日）13:30 材木公民館



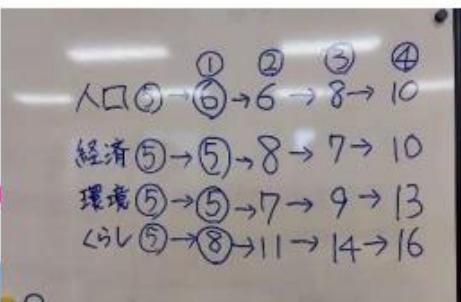
材木、馬場地区で
できるSDGsを、
子どもと一緒に考える、
そんなゲームを
しましょう。



夏休みの宿題にも
なるかも！

＜最終報告＞

- 事業名／SDGsとまちづくり
- 参加者／15名
- 状況／少人数ながらカードゲームは白熱していた。









＜住み続けられるまちのためのミーティング＞

日時／7月21日（日）13:30～16:30

場所／材木公民館

定員／約25名～30名

参加費／500円（飲み物+プレゼント）

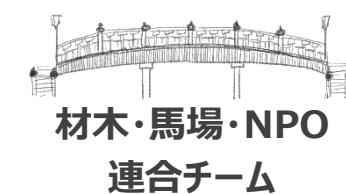
主催／材木地区連合町会

馬場地区連合町会

NPO法人 ワークライフバランス北陸

監修／金沢市市民局 市民協働推進課





材木・馬場・NPO
連合チーム

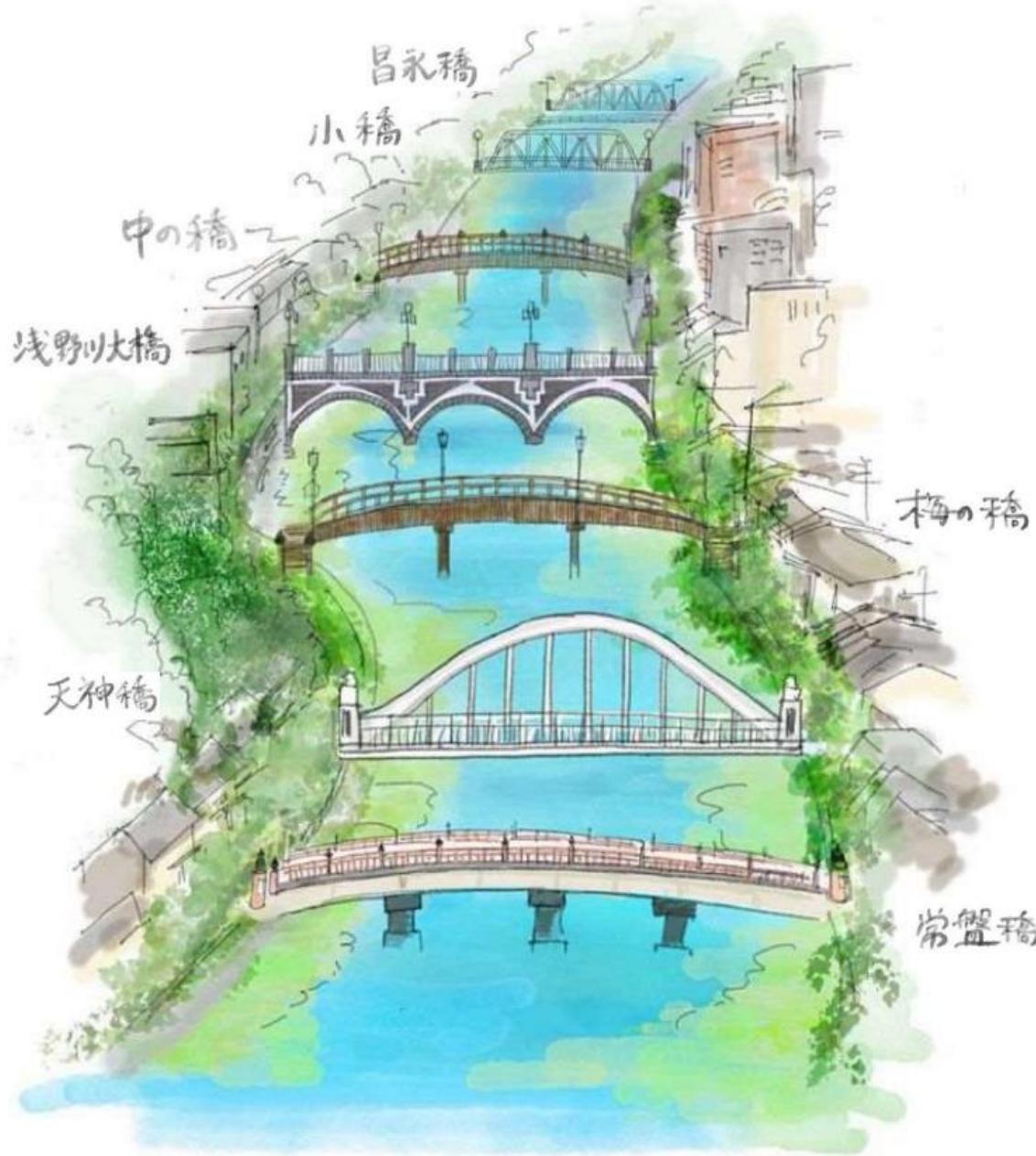
事業名) 七つ橋わたり・四つ橋わたり

参加者数) 四つ橋わたりは雨のため途中で中止。本番の七つ橋わたりは荒天のため最初から中止。

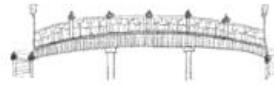
良かった点) 橋場緑地まで行って中止を決定する。四つ橋わたりのニーズはあることがわかった。

課題・反省点) 代替イベントを何か用意する。

市との協働について) 中田さん・小幡さんのアドバイス



七つ橋 渡り



- ◇日時／2024年9月22日（日）
- ◇時間／午前0時出発 雨天決行
- ◇集合／21日（土）23:50 常盤橋
- ◇参加／無料
- ◇運営／馬場・材木町連



① 常盤橋



② 天神橋



③ 梅の橋

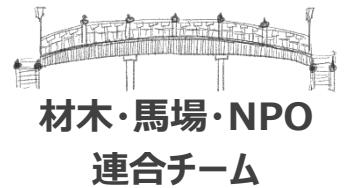


材木・馬場・NPO
連合チーム

浅野川界隈に古くから伝わる風習です。「七つの橋」を無言で渡ります。お彼岸の中日にあたる、春分の日と秋分の日の午前0時に常盤橋を出発します。七つ目の昌永橋まで浅野川に架かる七つの橋を約一時間かけて、お参りをしながら渡り歩きます。しもの病に効くと言われています。

最終報告

- 事業名／四つ橋わたり
- 参加者／15名
- 状況／雨のため途中で中止
- ※七つ橋わたりも天候不順により中止



材木・馬場・NPO
連合チーム

④ 浅野川大橋

⑤ 中の橋

⑥ 小橋

⑦ 昌永橋

事業名) [ひなんじょ たいけん] ゲーム

参加者数) 28名 馬場公民館

良かった点) 活気あって参加者は積極的に取り組んでいた。防災について意識づけができた。また、被災された輪島市在住の木下さんの講話は、机上では聞くことができない、鬼気迫る内容だった。

課題・反省点) 今回は町連の役員を中心に集客した。次回は町民を集めてやりたい。

市との協働について) 中田さん・小幡さんのアドバイス

開催予告

令和6年度
協働のまちづくりチャレンジ
事業成果 発表会/資料

P10

【ひなんじょ たいけん】 ゲーム

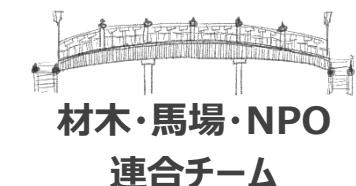
COMING
SOON

そのときに避難所で起こるさまざまな出来事を
「避難者の目線」で疑似体験します。

馬場町連
材木町連
連携企画



【ひなんじょ たいけん】ゲームでは、避難所に見立てた平面図に、避難者の年齢や
健康状態などが書かれたカードを配置していく、さまざまな出来事や課題に対応していきます。





[ひなんじょ たいけん] ゲーム

- ◆日程：12月10日(火)
- ◆時間：19時から
- ◆場所：馬場公民館

※特別ゲスト 輪島市在住
きょうこちゃん 講話

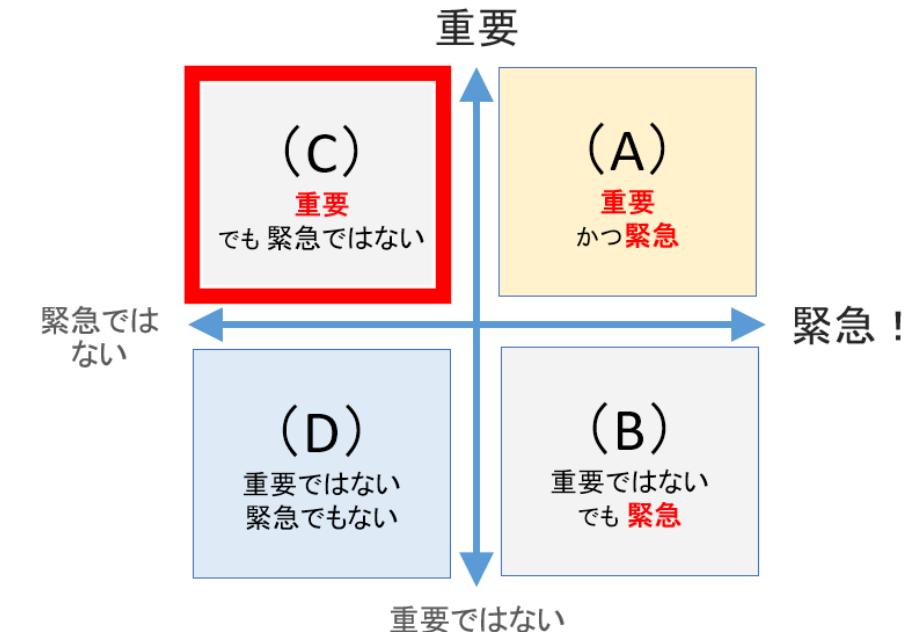
主催団体：馬場町連・材木町連・NPO法人ワークライフバランス北陸

<最終報告>

- 事業名／[ひなんじょ たいけん] ゲーム
- 参加者／16名
- 状況／活気あって参加者は積極的に取り組んでいた。



2回のセミナーと七つ橋渡りを運営してわかったことは
「参加者は、身近なものには興味を示すが、SDGsのような
大事なことだけ緊急性のないものには集まらない」という
ことです。しかしながら町連も含め私たちの存在意義は、
**「重要だけど緊急ではない」ことをやり続け、社会課題を
一つずつ解決していくことにあると思っています。**



当初の狙いとは違ったものなったが、ヒントを得た。
次年度は、テーマを身近な課題に求め
(図C) 人々の興味関心を惹く切り口で
事業を立案、実施していく予定。



ご清聴
ありがとうございました。

